

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和4年2月21日

事業所名: 児童発達支援事業所きらら館ひろき

保護者等数(児童数) 20

回収数 20

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0	1	・利用人数に応じたスペースは十分にあると感じます。	・活動のスペースについて、分かりやすく伝えていく。 ・環境構成への配慮を引き続き行っていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0	・相談事等があると帳面又はお迎えの時に対応して下さい、専門性と職員数は適切だと感じます。	・職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ⁱ になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	0	0	2		・子どもの段階を考慮した上で、行動のしやすさ、分かりやすさに繋がるようバージョンで環境を区切り、視覚支援を取り入れたりと、配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごす事ができるよう引き続き配慮を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症感染防止のため、施設や手指消毒、換気等の感染対策を徹底していく。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	20	0	0	0	・面談時にこちらのニーズ、現状把握を交換し、きちんと作成されています。子どもの成長と一緒に喜んで下さることが嬉しいです。	・アセスメントを実施し、保護者と共通理解を図りながら、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0	0		・児童発達支援ガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達段階や課題、目標に応じた支援内容を設定していく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	0		・支援内容について、分かりやすく伝えるよう、丁寧に説明を行っている。
	8	活動プログラム ⁱⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	0	・色々な活動があり、子どもの楽しみにしている。	・子どもたちが楽しみながら、様々な経験、体験を積み重ねることができるよう、活動内容を考慮し、実施していく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	1	0	2	・現在コロナ禍なので、交流はないのではないかと感じます。 ・支援して頂くことで、園の行事にも参加ができており、安心した。	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、行事への参加等、交流の場が少なかつたため、今後は機会を設けていく。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0	0		・見学時や契約時に運営規定、活動内容、利用料等について説明を行っている。分かりやすく伝えるよう、丁寧に説明を行っている。不明点については、その都度ご質問頂き、回答していく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	0	0	0		・個別支援計画について、支援内容や目標等について具体的に説明を行い、同意を得た上で支援を実施している。共通理解の基、支援を実施することができるよう心掛けていく。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ^{iv} 等)が行われているか	17	1	0	2		・保護者からのアンケートを基に講話を実施した。特性の理解やかかり方の学びに繋がるよう、家族支援を行っている。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	・毎日の様子を連絡帳で教えてもらえて、子どもの成長を感じます。 ・一日のうちにあったことや出来たこと等教えて頂けるので、とても助かります。 ・先生方が子どもの様子を詳しく伝えて下さり、成長を感じることが出来る。	・面談や帳面等を通して、日々の活動の様子や課題を丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	0	0	・気になったこと、悩み(子どもへの伝え方)等、アドバイス頂けることがとても嬉しいです。	・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、相談や悩みについてその都度助言を行っている。 ・密に情報交換を行い、共通理解を図っていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	2	2	3	・保護者同士、顔を合わせる機会があること嬉しいです。 ・現在コロナ禍なので、交流はないのではないかと感じます。 ・保護者同士の連携とは、どういったことを指すのか分かりませんでした。	・今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、保護者同士の交流の場を設けることができなかった。今後は、茶話会や講話を通して、保護者同士の連携の機会を作っていく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	0	0	2	・いつも相談にのって頂いたり、情報共有もして頂いて、迅速に対応して頂いてます。	・相談等があった際は、迅速に職員間で話し合い、その都度丁寧に対応できるよう、心掛けていく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	0	0	1		・送迎時や面談、帳面等を通して、子どもの様子や支援内容等の情報伝達ができるよう、配慮している。引き続き速やかに対応できるよう、努めていく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	0	0	3		・子どもの様子や活動内容が伝わるよう、引き続きホームページの更新を行っている。 ・行事等の予定を早めに伝えられるよう配慮していく。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	1	0	0		・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っている。 ・持ち物の入れ間違いがないよう、確認を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	1	0	4	・車での移動が多くなると、事故等にあった時のことが不安。	・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるような対応を行っていく。 ・実施の仕方について説明や伝達を行っていく。 ・車での移動については、安全運転に努め、事故のないよう配慮していく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	2		・年4回火事や地震等の場面を想定した避難訓練を実施し、訓練の様子について帳面やホームページにて保護者へ伝えていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	0	・様々な行事や活動があり、「明日は何かな？」と楽しみにしている。 ・楽しみなことなど、話してくれます。 ・毎日お迎えに行くと、「今日は〇〇した！」とたくさん教えてくれます。 ・通所を楽しみにしており、集団の中での自衛につながっているように感じる。	・体調面等配慮を行いながら、子どもたちが楽しいと感じる充実した支援となるよう活動内容を考慮していく。
	23	事業所の支援に満足しているか	20	0	0	0	・保育園で体験できないことをたくさん体験させてもらっていて、満足している。	・子どもたちの経験、体験、学びにつながるよう、発達段階に沿って支援を実施し、達成感や満足感につながるようしていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和4年2月21日

事業所名:児童発達支援事業所きらら館ひろき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数に対して、十分なスペースを確保し支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・職員数においては、配置基準を十分に満たしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・安心安全に過ごす事ができるよう配慮している。 ・必要に応じて、視覚的支援を取り入れたり、パーテーションを使用して空間を仕切ったりする等、子どもたちが遊びに集中できるよう、配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・時間を決め、館内や使用した玩具等の消毒を行っている。	・棚上に物を置かないようにし、整理整頓を徹底していく。 ・現在感染症が流行しているため、細目な消毒、換気、加湿等を行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・支援内容について、反省や目標を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間でも共有している。また、改善点を話し合い、その後の支援に繋がるよう、共有している。	・朝のミーティングや療育終了後の話し合いの時間を活用し、より良い支援になるよう、情報共有に努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者向け事業所評価を実施し、頂いた意見を基に改善に取り組んでいる。	・頂いた意見、改善点については全職員で情報共有する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・保護者評価、自己評価の意見について改善点を話し合っている。また、結果をホームページで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・鹿児島市の指導監査という形で外部評価を受け、指摘事項があった際は改善に努めている。	・業務改善につながるよう、第三者による評価の実施を引き続き検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・時期や子どもたちの様子に応じた研修内容を実施している。 ・全職員での研修の機会を設け、共通理解、支援の質の向上に繋げている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを実施し、子どもの様子や保護者のニーズを分析した上で児童発達支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの発達段階や様子の把握に努めている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。 ・発達支援、家族支援、地域支援のそれぞれの項目に対し、職員間で意見を挙げながら、支援内容を検討している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援を実施する職員が児童発達支援計画を把握し、計画に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・活動のカリキュラムやマニュアルを作成し、目的を統一しながら支援を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間計画に照らし合わせながら、子ども達の現状に応じて活動内容の工夫を行っている。 ・職員間で活動案を挙げ、様々な遊びが実施できるようにしている。	・プログラムが固定化されないよう、目的の明確化、発達段階に沿った支援の実施を意識しながら活動内容を検討、実施していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動案を作成し、事前に共通理解を図る時間を設け、子ども達の現状や活動内容について話し合いを行っている。	・打ち合わせの時間を十分に確保できないこともあるため、十分に取れるよう時間配分を考慮していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	○		・活動終了後、支援内容や、子どもの行動についてなど、職員間で気付いた点を共有している。	・十分に話し合う時間を確保できないこともあるため、活動毎に行えるよう心掛けている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々の記録を取る事を徹底し、気付きや改善点について、ケース検討やミーティングを行っている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・個別支援作成時期に合わせてモニタリングを実施し、見直しを行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での状況等を説明している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・統一したかわり方、情報共有ができるよう、細目に連絡を取り合う中で、子どもの現状や目標を伝え、連携を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現在は対象児童がいない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・現在は対象児童がいない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・連絡会や面談を実施したり、活動の様子を見学できる機会を設けたりし、支援内容の情報共有や相互理解を図っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学時には、必要に応じて移行支援シート等を作成し情報提供、共有を行い、安心して就学できるようにしている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会議への参加ができなかったが、定期的に保育所等への参加を行い、他事業所との連携を図っている。	・今後は、会議への参加を検討し、他事業所との連携を図っていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、交流の機会は少なかったが、定期的に保育所等と同じ空間で活動する機会を設けている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加できていないが、今後は積極的に参加していく。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳、送迎時、面談を活用し、子どもの様子や課題等について細目に伝え合い、必要であれば写真を連絡帳に貼るなどして視覚的にも伝わりやすいよう工夫を行っている。 ・ファミリーサロンで療育参加を行い、保護者へ支援内容や子どもの様子を伝える機会を作っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・ファミリーサロンで講話の機会を設け、子どものかかわり方や声掛けについてなど、特性の理解や学びに繋がるよう、家族支援を行っている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・見学時や契約時に活動内容や利用料等について説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・保護者へ説明を行い、同意を得た上で支援を実施している。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどし、その都度助言や支援を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者会を実施することはできなかったが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、保護者同士の交流や連携の場を設けることができなかった。	・今後は保護者同士の交流や、情報交換ができる場の提供、機会を増やしていく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談があった際は、迅速かつ適切に内容について検討し、周知できるよう、心掛けている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月の活動予定表に、活動の様子の写真等載せ発信したり、ブログを更新したりしている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。 ・ホームページへの掲載については、同意を得た方のみ掲載している。	・荷物の入れ間違いがあるため、確認を十分に行っていく。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・意思疎通や情報伝達のため、視覚支援を行う等、配慮をしながら支援を行っている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域住民の招待等の機会を設けることができていない。	・今後は地域に開かれた事業運営を心掛けていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・必要に応じてマニュアルを策定している。 ・火災や地震等、場面を想定した訓練を定期的に行っている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・消防署立会い訓練を2回、自主訓練を2回の計4回、火事や地震等を想定した訓練を実施している。	・非常災害に対応できるよう、今後も火事や地震、土砂災害等、様々な場面を想定した訓練を実施していく必要がある。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・服薬については毎日連絡帳にて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況についてはその都度確認し、周知している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)